

2025 年 4 月 30 日

パルシステム東京 御中

平和カンパ 2024 年度 年次活動報告書

生活協同組合パルシステム東京様の平和カンパにより、昨年に引き続き、タイ・ミャンマービルマ国境沿いにあるメラ難民キャンプ第 1 図書館、第 5 図書館でのノンフォーマル教育事業を支援することができました。2021 年のミャンマー軍による政変以降、さらに困難を極める難民の人々にとって心の拠り所となるコミュニティ図書館へのご支援を、誠にありがとうございました。

1. 事業概要

事業対象地：タイ国境 7 カ所のミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

事業名：ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じたノンフォーマル教育支援事業

対象者：2024 年度図書館利用者延べ 7,146 人（メラ第 1 図書館）、延べ 11,444 人（メラ第 5 図書館）



2. 難民キャンプを取り巻く状況

現在、タイとミャンマーの国境にある 9 つの難民キャンプには、ミャンマーからの難民が約 9 万人暮らしているとされ、メラ難民キャンプには 29,023 人が暮らしています（2024 年 11 月末現在、UNHCR Thailand）。9 か所の難民キャンプの全人口の 8 割が希望する新たな第三国定住プログラム（アメリカ行きのみ）は 2024 年 4 月より開始され、9 月までにタムヒン難民キャンプから約 125 名がアメリカへ出発しました。しかし、年間 1 万人がアメリカに再定住すると予想されていたため、本プログラムは大幅に遅れが生じています。一方で本プログラムに登録されていない新生児や、第三国定住を望まない人々もいることから、キャンプに取り残された人々への対応を含めて、第三国定住だけでなく複数の解決策が求められています。しかし、残念ながら有効な解決策がないのが現状です。



図書館にてお気に入りの絵本を発表

3. 活動内容

① コミュニティ図書館活動

各コミュニティ図書館には2人の図書館員と図書館青年ボランティアがおり、図書の貸し出しだけでなく、絵本の読み聞かせや楽しいアクティビティを通して子どもたちを見守っています。図書館員による読み聞かせは、絵本のほか、大型絵本、パネルシアター、エプロンシアターも活用しています。加えて、日々の活動とは別に、当会職員はキャンプ内の図書館青少年ボランティア(TYV)メンバーと図書館員に向けた2日間の研修を行ってスタッフ間の連携を強化するとともに、週末に図書館で実施される図書館活動に向け、人形劇などの図書館活動に関する実務研修も実施しました。

② 図書館からの情報提供活動

ミャンマーから毎月購入しているビルマ語やカレン語の雑誌、新聞、漫画、小説など、大人向けの一般教養図書の配布を続けています。各図書館には毎月25~30冊程度が配布されますが、その冊数はタイ・ミャンマー間の為替レートによって変わります。また、コミュニティ図書館には情報掲示板やPCを設置しており、ミャンマーの情勢、健康に関する情報、キャンプ内の概況、第三国定住プログラムに関する情報を共有しています。

そして、当会のプログラムの一つである「絵本を届ける運動」により、日本から7タイトル5,881冊(3,151冊がカレン語に、2,730冊がビルマ語)の子ども向けの絵本が届き、4月に各図書館に配布しました。大人向けには、毎月55冊の雑誌、新聞、小説、漫画をミャンマーから購入して配布しました。

③ 学校への移動図書箱活動

キャンプ教育部会と協力し、自習の促進や補助教材としての書籍の利用、授業への読書推進の応用を継続的に支援しています。各図書館では、キャンプ内のさまざまな教育施設の教員が子ども向けの絵本や授業で使用する一般図書を選ぶためのサポートをしています。メラ難民キャンプでの移動図書箱活動は1月から12月の間に134回実施し、4,797冊の図書が貸し出され、21,690人が利用しました。

4. 難民キャンプからのメッセージ (ソーさん、12歳)



写真内絵本:福音館書店『ぱくぱく はんぶん』
ぶん:渡辺鉄太 え:南 伸坊

僕はカレン族で5年生です。今はおばあちゃんと一緒にメラ難民キャンプに住んでいます。水汲みや掃除をして家族を手伝っています。僕は普段週3回ほど図書館に行きます。僕の一番好きな絵本は『ぱくぱく はんぶん』です。何かを食べるときは、ほかの人のことも気にかけなくてははいけません。食べただけ食べてはいけません。図書館での催しで一番好きなのはお絵描きです。昔家にいたときには、よく絵を描いていました。絵を描いているとき僕はすごく幸せな気持ちになります。図書館には優しくて

親切な図書館員さんたちがいます。読み聞かせをしてくれたり一緒に遊んだりする時間はすごく楽しいです。僕の将来の夢は医者になることです。家族と地域の人たちと、そして自分自身の世話をしたいです。最後に、ご支援者の方々に礼を言いたいです。新しい本をくださって、無料で行ける図書館をつくってくださって本当にありがとうございます。